

新年度予算

●平成24年度一般会計予算
：可決

〔討論〕

遠山議員：小中学校の耐震化は予算の最重要施策にすべきであり、3・11の教訓から見ても不十分な予算と言わなければならない。市長の政治姿勢が一つ一つの事業、政策にあらわれるということを訴えて、反対。

平議員：私たち市民、議員にできることは、理由なき足は引つ張らない。近視眼的財政再建は百害あって一利なし。己に厳しく、そして他人には理解力をもつて、やることを成功させるように頑張らしましょう。賛成。

落合議員：ここ数年の厳しい財政状況の中、未来を見据えた選ばれたまちの実現を目指したものと評価。取手市の安心安全な生活を守る、そして将来への駅前を初めとした地域活性化への内容と期待し、賛成。

石井議員：財政状況の厳しい中にある中でも、安全安心な市民生活を重視し、さらに子育てをしていく上で望

ましい環境が整えられてきている。限られた財源を効率よく配分していると評価し、賛成。

小嶋議員：厳しい財政状況の中でも、雨水排水整備事業や学校耐震化事業のほか、市道改良事業など、市民の期待に応えるポイントを押さえたバランスのよい配分。市民本位の予算編成であると評価し、賛成。



左・こども発達センター(高須)と右・新年度予算に移転先として購入・改修費用が計上された東京電力事務所跡地(西)

●平成24年度取手駅西口都市整備事業特別会計予算：可決

〔討論〕

結城議員：ウエルネス・タウンには反対でない。しかし、整備計画策定調査の結果を受けて、市民の意見を聞いて計画を進めるべき。また、公共施設マネジメント白書との整合性が求められている。反対。

吉田議員：新たなまちづくりを進めなければ、都市間競争に負けてしまう。取手駅周辺地区が一日も早く活性化するように、市長と議会が両輪となって取り組んでいくべき時期。賛成。

加増議員：ウエルネスプラザよりも、旧東急ビルの再開が市民の声。市民合意もないウエルネス・タウン構想を中止して、市民要望に応える民主的な市政運営を求めて反対。

飯島議員：若い人間が取手に定住して暮らしていける駅前づくりを当たり、ウエルネス・タウン構想に文化・芸術というテーマを盛り込み、本物のまちづくりの開発としてほしい。反対。

●平成24年度用地先行取得事業特別会計予算：可決

〔討論〕

加増議員：今回の予算計上は、ウエルネスプラザ建設用地に活用するとしてお

り、市民要望とは程遠い。土地の使用目的から外れるもの。用地先行取得事業の在り方も問われる。反対。



(仮称) ウエルネスプラザのイメージ図

●平成24年度国民健康保険事業特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：取手市が市民の立場で国保税の値下げ、抑増額を求め、同時に一般会計からの繰入金を増額すべき。また、病院にかかりにくくなる保険証取り上げはすべきではない。反対。

●平成24年度介護保険特別会計予算：可決

●平成24年度介護サービス特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：保険料の値上げに反対。生活援助縮小、地域区分直し、コストの高い施設から在宅へ、さらには医療から介護へと流れを強めている。包括支援センターの増設計画を立てていないことも指摘し、反対。

●平成24年度後期高齢者医療特別会計予算：可決

〔討論〕

遠山議員：保険料の値上げとなり、高齢者にとって大変な負担増となる。私ども日本共産党議員団は、広域連合に値上げをしないよう申し入れを行った。この立場を表明し、反対。

●平成24年度競輪事業特別会計予算：可決

〔討論〕

加増議員：競輪場の修復はまだかかるといわれ、収入の見通しは不明。競輪事業の破綻は明らか。私たち日本共産党市議員団は、住民合意のもとで競輪場を文化・スポーツ施設に転用するよう求めている。反対。

新年度予算を除く 市長提出議案

●暴力団排除条例：可決

暴力団の排除を総合的に推進し、市民の安全で平穏な生活の確保及び市における社会経済の健全な発展を図るため制定するもの。

●暴力団排除条例に対する修正動議：否決

基本理念を明確にし、市の責務に相談窓口の設置を追加するもの。

〔提出者〕

遠山議員ほか2人

〔討論〕

染谷議員：暴力団問題は日常生活と無関係ではない。健全な市民生活から暴力団の排除へ力を合わせる必要がある。安全で平穏な生活の確保と社会経済の健全な発展を目指し、原案に賛成。

関戸議員：極めて時間が短い中で、条文も含めてまだ

まだ不十分さがたくさんある。取手市の姿勢を示す意味で、窓口があることは決して悪くない。積極的だと思う。修正案に賛成。

●墓地等の経営の許可等に関する条例：可決

墓地、埋葬等に関する法律の改正により、墓地、納骨堂、火葬場の経営許可等の権限が市に委譲されることに伴い、制定するもの。

〔討論〕

小嶋議員：墓地を経営する母体が市内にある宗教法人等に事実上限られることは、誠に結構だと思う。墓地の基準も、市民の意見によって適切な大きさに変えられた。賛成。